

「富富富」のブランド化に向けて生産拡大を進めましょう

「富富富」については、将来的に中生の大宗を占める品種として育てていくこととし、生産拡大・需要拡大を進めています。
デビュー以降、栽培マニュアルの更新による栽培技術の安定化を進め、また、密苗栽培の追加や保有米数量の制限をなくす等、より栽培に取り組みやすくなりました。
栽培マニュアルを厳守した栽培の徹底とさらなる生産拡大により、県独自品種としてブランド化を進めていきましょう。
生産拡大に向けたチラシを作成しましたので、ぜひご覧ください。



▲「富富富」
生産拡大チラシは、
「富富富」ホームページ
からご覧になれます

信頼される「安全・安心」な米づくり

消費者に選ばれ、信頼される富山米を安全に生産するため、「とやまGAP」に取り組みましょう。

- ◆ **安全な米づくり** 農薬・肥料の適正使用、異物の混入防止等に努めましょう。
- ◆ **環境の保全** 廃棄物の適正処理、住宅地周辺への農薬散布の周知と飛散防止等に努めましょう。

住宅地や学校・通学路等の周辺で農薬散布を実施する場合は、十分な時間の余裕を持って事前に幅広く周知する等、一層の配慮をお願いします。

富山県農薬危害防止運動 6/15～9/14

秋の農作業安全運動(8月20日～10月20日)

毎年、秋の農繁期には、コンバインによる事故が多く発生します。
余裕をもった作業計画を立てるとともに、事故防止対策を徹底しましょう。

- コンバイン作業時は、衣類が巻き込まれないよう、袖口や裾が締まった衣服を着用しましょう。
- 詰まったワラを取り除く時は、必ずエンジンを切りましょう。
- 後進時には死角が多いので、補助者による誘導や確認を行いましょう。
- 万一の事故に備え、労災保険に加入しましょう。

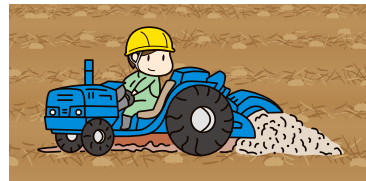


秋の土づくり運動(9月15日～11月15日)・10月1日は「土の日」

肥料高騰対策や環境にやさしい持続可能な農業生産の普及拡大、適正施肥等に向け、土づくりを積極的に進めましょう。

- 土壌改良資材の施用による、ケイ酸・アルカリ分・加里等の補給
- 堆肥や緑肥等有機物の施用による、土壌の肥沃度、保水性・排水性の向上
- 深耕による作物の根域の拡大

※緑肥栽培には、県の補助制度もありますので、ぜひご活用ください。



農作業中の熱中症対策のポイント

- 熱を逃がしやすい衣服の着用や保冷剤等により体を冷やす
- 喉が渇く前の水分補給や塩分補給をこまめに行う
- 作業はできるだけ複数で行い、休憩の声かけをするなどで体調を確認し合う



《新型コロナウイルス感染防止対策におけるマスク着用について》

夏期の気温・湿度が高い中でマスクを着用すると、熱中症のリスクが高くなるおそれがあります。このため、屋外やハウスで人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合には、熱中症のリスクを考慮し、マスクをはずすようにしましょう。

高品質で美味しい 富山米を食卓へ 「ほおばる幸せ。富山米」

みんなで
美味しい
富山米を
作りましょう

最後まで水管理を
しっかりとって、稲の
活力を維持
品質が良く美味しい
米に仕上げよう

適期刈取で胴割米
を出さないぞ

品質向上に向けて
土づくりに取り組もう

今年も、適期の田植えや溝掘り・中干しなどを進めていただきました。
1等米比率90%以上を目指して、この後も技術対策の徹底をお願いします!

今後の技術対策

1

登熟期間の
稲体活力を
維持

2

適切なカメムシ
防除で斑点米
発生防止

3

適期刈取と適切な
乾燥・調製で
胴割れ防止

猛暑に
負けない!!

「高品質で美味しい富山米」への総仕上げ

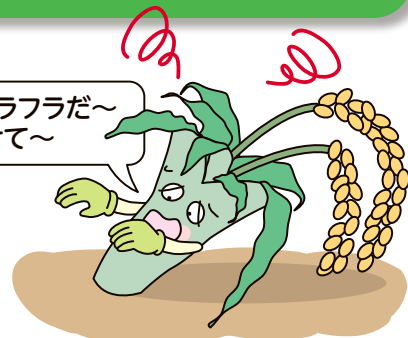
～「稲体の活力維持」で4年産も1等米比率90%以上～

1 登熟期間の稲体活力を維持!

1 こまめな水管理

- 幼穂形成期から出穂期までは**飽水管理**
- 出穂後20日間は**湛水管理**
- 刈取り5～7日前までは**間断かん水**
(フェーンが予想される場合は、事前に入水)

水不足でフラフラだ～
たすけて～



水管理のイメージ

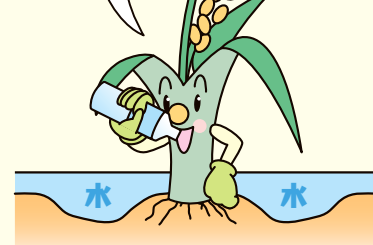
足跡の水を
切らないように



飽水管理

幼穂形成期から出穂期まで

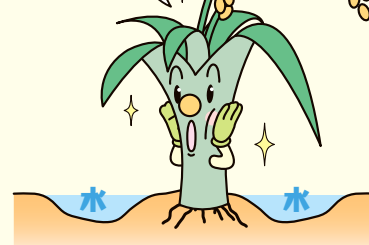
田面が
出ないようにね



湛水管理(水深2～3cm)

出穂後20日間

こまめな水分
補給で最後まで
がんばるよ!



間断かん水

刈取り5～7日前まで

2 穂揃期の葉色を4.2～4.5(砂壤土は4.5)に誘導

- **出穂7日前に葉色診断**
- 肥効調節型基肥栽培で葉色が薄い
(4.0未満(砂壤土は4.2))場合は
**出穂の3日前までに追加穂肥を窒素成分で
0.7～1.0kg/10a施用**
- 分施肥栽培では、土壌に応じて2回目の穂肥を確実に施用

穂揃期の葉色が淡いと、暑さに耐えられず、



背白粒

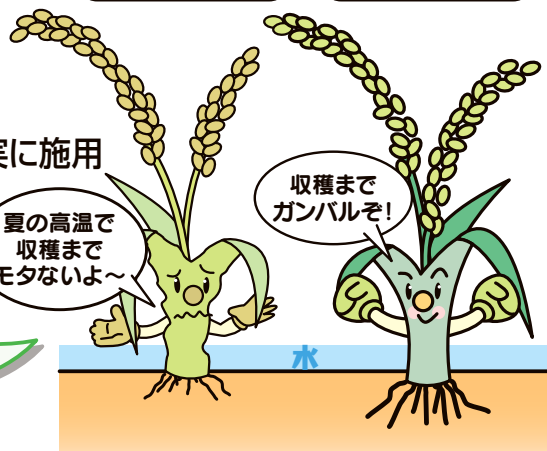


基白粒

が発生します!

葉色4.0

葉色4.5



穂揃期の田んぼでは…

2 適切なカメムシ防除で斑点米発生防止!

- 「てんたかく」など早生品種は穂揃期と傾穂期の**2回防除を確実に実施**
- 防除間隔は7日を目安に(間隔が長くないように注意)
- 「コシヒカリ」、「富富富」等は穂揃期防除を**確実に実施**
- 防除後もカメムシの生息数が多い場合は追加防除
- クモヘリカメムシ等大型カメムシの発生が多い地域では、品種を問わず2回防除を実施

県内で発生が多いカメムシ類



アカヒゲホソミドリカスミカメ



アカスジカスミカメ

3 適期刈取と適切な乾燥・調製で胴割れ防止!

1 気象に応じた適期の刈取り

- 高温で収穫が早まっても対応できるよう
計画的に収穫、乾燥・調製の準備を
- 降雨が続く場合に備えて手溝を点検

刈取り開始の目安

登熟期間の気温	積算温度	籾黄化率
平年並み	1,000～1,050℃	85～90%
高温	950℃	80%

2 適切な乾燥・調製

- **毎時乾減率0.8%以下**でゆっくり乾燥
- 収穫時の籾水分に応じた乾燥

収穫時の籾水分	乾燥作業のポイント
25%以上	① 搬入後、2～3時間の通風乾燥 ② そのあと、二段乾燥 (籾水分17%で一旦停止、半日後再乾燥)
20%未満	機種標準マイナス5℃の送風温度で乾燥

- 仕上げ**玄米水分は14.5～15.0%**に

- ◆ 1.9mmふるい目の使用で選別を徹底
- ◆ 施設や設備の清掃・点検を徹底して異品種・異物の混入を防止



胴割米が

いちばん困るんだよね～



高温だから、
黄化率80%で
刈取り開始

早く来てくれて、
ありがとう

